

# 機能分子病態学分野 教員公募のお知らせ

## 1. 職名

助教

## 2. 研究領域

機能分子病態学分野では、ユビキチン化反応に関わる分子、細胞内の膜輸送に関わる分子、オートファジーを介したオルガネラの品質管理機構に関わる分子、などの“細胞内機能分子”に着目し、その機能破綻が疾患を引き起こすメカニズムを研究しています。例えば、「ユビキチン化やオートファジーを介したオルガネラの品質管理機構が、どのようにして神経変性疾患の発症を抑制しているのか？」という研究課題に取り組んでいます。これまでに、ユビキチン化とオートファジー分解を介したミトコンドリア品質管理の破綻が、遺伝性潜性パーキンソン病を引き起こすことを明らかにしてきました。しかしながら、パーキンソン病のような難治疾患に対する治療法開発や治療薬発見のためには、病態をさらに詳細に理解することが必須です。そこで、助教として、精製タンパク質を用いた生化学実験や培養細胞を用いた細胞生物学実験を立案実施する能力があり、オルガネラの選択的なオートファジー分解・ユビキチン・ミトコンドリアに関する専門知識を持ち、精力的に実験を進めて新たな研究領域を開拓していく能力がある、そのような研究者を募集します。

## 3. 採用条件

雇用形態：常勤（任期制）

採用予定日：2022年 4月1日を予定（特別な事情があれば相談に応じます）

任期：採用日から3年以内、再任は業績審査の結果2回まで可能とする。

試用期間：採用日から6ヶ月間

※ 本学では、女性研究者支援を推進しており、女性研究者の積極的な応募を期待しています。全ての教職員が、出産・育児等のライフイベントと研究活動を両立できるよう様々な取り組みを行っています。本学の取り組みは下記ページをご覧ください。

【女性研究者支援の推進について】：

<http://www.tmd.ac.jp/employment/teacher/ang/index.html>

また、外国人研究者、外国で学位を取得した研究者及び外国において教育研究に携わった研究者等の応募を歓迎します。

## 4. 給与等

国立大学法人東京医科歯科大学就業規則に基づく任期制の教員

給 与：国立大学法人東京医科歯科大学給与規定による。  
(学歴・職歴に応じ本学規定に準じて決定)

勤 務 時 間：裁量労働制

月～金 8:30～17:15を基本とし、労働者の裁量に委ねる。  
(専門業務型裁量労働制により、7.75時間働いたものとみなされます)

休 日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29～1/3)

休 暇：年次有給休暇、特別休暇、病気休暇など

社会保険等：法令の定めるところにより加入します。

文部科学省共済組合健康保険、共済年金、雇用保険、労災保険

諸 手 当：本学給与規則等により、支給条件を満たした場合に支給します。  
通勤手当、住居手当、扶養手当など

## 5. 提出書類 (A 4 版)

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績目録 (英文原著、英文総説、その他に分類し、新しい年度から順に記載するほか、インパクトファクターも併せて記載)
- (3) 競争的研究経費等の採択状況 (代表者・分担者を明記)
- (4) 主要論文の別刷 3 編以内 (コピー可)
- (5) 上記論文について、それぞれ 2 0 0 字程度の解説文
- (6) これまでの研究内容・方向性、将来への抱負 (1 0 0 0 字以内)
- (7) その他特記すべき事項 (受賞ほか)

## 6. 応募方法

- (1) 応募はオンラインにより受け付けますので、下記内容を電子メールに記載のうえ、**2022年1月31日(月)までに**、事務部総務係 (pr.mri.adm@tmd.ac.jp) へお知らせください。

### 【電子メールの記載内容】

ア. 氏名及び所属

イ. 応募者の連絡先 (電話及び電子メールアドレス)

なお、送信の際の件名は、「**機能分子病態学分野教員(助教)公募に応募**」としてください。

- (2) 電子メールの内容を確認した後、事務担当から提出方法をお知らせします。
- (3) 上記 5. 提出書類は、書類提出締切日までに提出ください。

## 7. 書類提出締切日

**2022年2月1日(火)**

8. 問い合わせ先

難治疾患研究所事務部総務係

TEL : 03-5803-4504 Fax : 03-5803-0392

E-mail: [pr.mri.adm@tmd.ac.jp](mailto:pr.mri.adm@tmd.ac.jp)